



近自然化されたI s a r河

私たちに暮らしやすい環境を未来に・・・ “ 近自然学セミナーin 盛岡 2009 ”

主催：岩手・木質バイオマス研究会

共催：日本ピオトープ協会・北上川流域連携交流会

後援：国土交通省・環境省・リバーフロント整備センター・NEXCO・岩手県

日時：2009年2月20日(金) 10:00

場所：盛岡駅西口 マリオス 小ホール(350席)

10:30 開会の挨拶・祝辞

10:50 “ これからの時代を豊かに生き延びる為に・・・ ”

(木質資源の持続的循環を含めて)

山脇正俊氏(スイス近自然学研究所代表・チューリッヒ在住)

13:30 “ 日本における河川行政について ”

吉田邦伸氏(国土交通省 河川局河川環境課 課長補佐)

14:00 “ 新しい川作り・・・多自然川づくりの実施例を中心に・・・ ”

カール・ライトバウアー氏(バイエルン州水利局エンジニア)

15:15 パネルディスカッション：“ 環境首都いわての自然を生かす ”

コーディネーター 村井 康典氏 (岩手日報論説委員)

パネラー 山脇正俊氏

カール・ライトバウアー氏

吉田 邦伸氏(国土交通省河川局・河川環境課 課長補佐)

山本 聡氏(東北整備局・岩手河川国道事務所 所長)

佐藤 文夫氏(岩手県・県土整備部 部長)

内田 宏尚氏(NPO法人北上川流域連携交流会)